

### 【基本方針】

「ご利用者の安全を守り在宅生活を継続できるよう支援するとともに、職員が働きやすい職場環境を作る」

### 【年間目標】

- ① 感染症や災害が発生した場合でもご利用者の必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を作る
- ② 住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう多職種連携を行う
- ③ 自立支援・重度化防止に資する質の高いサービスの実現を目指す
- ④ 介護人材の育成、離職防止、生産性向上に向けた取り組みを推進する
- ⑤ 高齢者虐待防止に向けての取り組みを強化する

### 【実践計画】

- ① 感染症や災害が発生した場合でもご利用者の必要なサービスが安定的・継続的に提供できる体制を作る
  - ・スタンダードプリコーションを実施し、感染症の蔓延を防止するよう努めた。また、現在の感染症の動向についてご利用者や他事業所に対し情報提供を行い、ワクチン接種の推奨等を行った。ご利用者・職員共に罹患はあったものの、幸いデイサービス内での蔓延はなく、終息した。
  - ・災害発生時に限らず、ご利用者の安全な導線確保ができるよう、危険と思われるような場面について月1回の会議の際に話し合い、職員が共通した認識を持ち対応できるようにした
  - ・災害発生時に混乱なく避難できるよう、複数回の避難訓練を実施した
- ② 住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう多職種連携を行う
  - ・認知症になっても在宅生活が継続できるよう、認知症及び問題行動への対応方法について職員の理解を深め、月1回の会議や勉強会を利用して認知症利用者への関わり方の実践的な研修を行う等、認知症への対応力向上に向けた取り組みを行った
  - ・ケアマネージャーをはじめ他事業所と密に情報交換を行い、何かあればすぐに対応できるよう連携を図った。徘徊のあるご利用者のGPS管理や、徘徊時の捜索・保護等出来る範囲で協力を行った
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響で外出機会が減っているため、他者との交流機会が確保できるよう、ご利用者からの要望には可能な限り対応したり、振替利用の推進を行ったり、休みがちな方には電話連絡をする等、デイを休まずに利用して頂けるよう促しを行った
  - ・家族や近隣住民に真摯に対応し信頼関係を築き、普段から情報共有を行い、何かあればすぐに対応できるよう他事業所との情報共有を密に行った
- ③ 自立支援・重度化防止に資する質の高いサービスの実現を目指す
  - ・ご利用者情報を把握し、自立支援を念頭に置きながら、どのような介護が必要か、また自宅でどのように活用していけるかを検討し実践する

- ・ご利用者個々の心身状態を把握し、現在の ADL の維持向上が図れるよう、新しいレクリエーションや体操のプログラムを検討し、取り入れた
  - ・運動レクリエーションには現在 13 名のご利用者が参加。家族の希望先行でモチベーションが低い方もいるため、無理のない程度に話をしたり励ましたりしながら実施している。職員、参加者双方ともに慣れてきて、スムーズに実施できるようになってきている。他のご利用者への紹介や見学を行い、できるだけ多くのご利用者の参加を促し、下肢筋力の低下の防止に努めていきたい
  - ・感染予防に留意しながら、外出機会の少ない利用者が楽しめるよう少しずつ外出行事を復活させている。デイ内で行う行事でも季節が感じられたり集団で楽しめる新しい行事を企画し実施した
  - ・デイサービスの利用が楽しみや生きがいとなるよう、ご利用者が笑顔で楽しく過ごせるよう職員が関わり、利用者が積極的に他者交流できるように心がけた
- ④ 介護人材の育成、離職防止、生産性向上に向けた取り組みを推進する
- ・スタッフ会議や勉強会を利用し、事故防止や利用者対応の検討と、それに必要な介護技術の習得を行い、ケアの標準化を図った
  - ・定期的に面談を行う、会議等を利用し意見交換をする場を設ける等、職員間のコミュニケーションをしっかりととり、風通しがよく相互理解できる職場環境を作る努力をした
  - ・5S の推進、効率の良い介護方法の習得、手順の簡略化等により、業務効率化を図ったが、まだ発展途上のため、今後も効率的に業務にあたるよう取組を行っていく
- ⑤ 高齢者虐待防止に向けての取り組みを強化する
- ・丁寧語での会話や節度を持った態度等接遇マナーに注意し、職員間でお互いに注意しあえる環境づくりを行った
  - ・ご利用者を敬い真摯に向き合うことにより、ご利用者の思いを理解し、丁寧な対応を行い、不適切ケアを防止した
  - ・ご利用者単独での立ち上がりや歩行について検討を行い、行動制限や身体拘束を防止に向けた取り組みを行った
  - ・入浴時のボディチェックで不自然な内出血や怪我があれば速やかに報告を行い、事実関係を調査して虐待の早期発見に努めた

**【神戸市への報告を必要とした事故】**

報告件数：0 件

**【苦情件数】**

苦情件数：1 件

- ・送迎車が利用者近隣住宅の敷地内に無断で入ったとの苦情あり。ドライバーへの指導をしっかりと行い、再発を防止する